

2024年11月16日(土)～17日(日)の2日間、2024年 IOMクラス選手権が静岡県磐田市の「竜洋B&G海洋センターしおさい湖」の水面で開催された。出場選手は地域別に関東9名、中部5名、西日本3名の計17名の参加。艇種別は Kantun2 が8艇、Britpop が2艇、Pikanto が2艇、V11 が1艇、Atlas が1艇、自作が3艇である。ルールは2021～2024セーリング競技規則及び付則E、帆走指示書、レース公示に基づき HMS2022 にて実施された。



1日目 ①東北東 Aリグ 5レース 北岸壁 風速3～4m

2日目 ②西 Aリグ 5レース 北岸壁 風速2～3m

#### レース1日目

初日は東北東の風、水面により変化のある不安定な風でのレースとなった。北岸壁の操船エリアはコースに沿っており、とても見やすく風上マークも複数設置されており風向きの変化に応じて適切に使えるよう設置してあった。HMSのため昨年のIOMレース結果順でヒートを分け、前回不参加艇は適切にA/Bに振り分けられていた。第1レースはAヒートでの参戦。今回はスタートで他艇とからまない。リコールしない。他艇と接触しない。マークタッチしない。の4点に注意した。そのせいか初日を終わった時点で1位は取れなかったが「2-4-2-2-2」と上位をキープ出来た。

#### レース2日目

2日目は9時の時点で北風が入っていたため、風待ちでスタートが1時間遅れた。初日と全く反対の風(西)で10時スタートとなった。風速も2～3mで安定している。前日より風速が落ちる事が予想された為、リグのチューニングにしっかりと準備をしておくことを心掛けた。また、初日の順位に対して守りに入るのではなく、攻めつつも強引にいかない事を念頭においてレースをすることを心掛けた。2日目も「6-3-2-1-4」と安定した成績を残せた。6点はレース中のポートスタボーでの他艇を接触してペナルティーを払ったためである。やはりインシデントを起こすと順位を下げるのは明白だ。6点以外はすべて4位以内という安定した成績。

#### 最終成績

10レース実施で2カットとなったため、取りこぼしを捨てる事ができラッキーだった。おかげさまで昨年開催された選手権に続きIOMクラス2連覇を達成する事が出来た。なお、故室川氏の奥様からコーヒーを副賞として頂いた。

今回は10レース中、1位が1回しか無かったが、大きく順位を落としたレースもなく、すべてAヒートで終わった事が勝因だと思っている。インシデントを起こした6ポイント以外は4ポイント以内。丁寧なレースが優勝という結果をもたらしたと感じた。これからもインシデントを起こさないレースを心掛けようと思っている。

最後に

共催した IOM クラス協会役員、会場準備等大会を支えてくれた竜洋ラジコンヨットのメンバ、会場を貸していただいた竜洋海洋公園関係者の皆様に感謝、お礼申し上げます。また、大会を運営/サポートしていただいた中嶋氏、落合氏、杉浦夫妻、コース設定やインシデントなど適切に対応いただき楽しい大会になりました事お礼申し上げます。ありがとうございました。